学校教育目標
「主体的に学び、心豊かにたくましく生きる生徒の育成」

矢中だより

第３０号
令和８年１１月１９日
由利本荘市立矢島中学校

深い学びに向けて～校内授業研究会～

11月16日（月）、秋田県教育庁より3名の指導主事をお迎えし、校内授業研究会（教科等訪問）を実施しました。3校時は全学級の授業（1A国語、1C英語、2A理科、3A体育）を参観いただき、4校時は「1Aの特別活動」と「2Aの数学」の2つの授業を重点的に公開しました。

どの教室でも、課題に真剣に向き合う矢中生の姿が見られ、日頃の学びへの意欲が伝わってきました。今回指導していただいた内容をもとに、生徒一人ひとりが「わかった」「できた」と実感できる授業づくりを目指し、今後も全教職員で研修を重ねてまいります。


一般授業　3年体育（バスケットボール）


特定授業　２年数学（平行と合同）


特定授業　１年特活（個性とキャリア）

保育の重要性実感～3年保育実習～

11月18日（水）の午前、3年生が技術・家庭科（家庭分野）の授業の一環として、矢島保育園で保育実習を行いました。最初は少し緊張していた生徒たちも、園児と目線を合わせて触れ合ううちに自然と笑顔になり、遊びを通した楽しさと同時に、幼児の発達段階に応じた配慮や適切な関わり方を実践的に学びました。戻ってきたときの3年生は園児から元気をもらってきて笑顔いっぱいでした。

お忙しい中、貴重な学びの機会をご提供くださった矢島保育園の皆様に、心より感謝申し上げます。

保育実習の主な目的

- 幼児の発達と特徴の理解
- 自己成長と他者への理解
- 適切な関わり方・接し方の習得
- 家族や地域とのつながりの意識







「一票」の重さ知る～選挙出前授業～

11月18日（水）の午後、由利本荘市選挙管理委員会の方々をお迎えし、3年生を対象とした「選挙出前授業」を実施しました。これは社会科の学習の一環として、選挙の仕組みや意義を学ぶものです。

当日は講話を聞いた後、一人ひとりに用意された入場整理券を使い、ホールに設営した特設会場で模擬投票を行いました。記載台や投票箱、投票用紙など実際の選挙で使用される機材をお借りし、受付から投票までの一連の流れを体験しました。実物を用いた本番さながらの体験を通して、生徒たちは「公正を期す大切さ」や「一票の重み」を改めて実感した様子でした。

3年生は3年後には18歳を迎え、選挙権を得ることになります。今回の経験を機に政治や社会への関心を高め、自分たちの手でより良い未来を築いていってほしいと願っています。

お忙しい中、丁寧なご指導と機材のご準備をいただきました由利本荘市選挙管理委員会の皆様、深く感謝申し上げます。



投票の流れを聞く



本物と同じ入場整理券(本人用)



記入スペース



整理券を渡して受付



真剣な表情で投票



立会人の方もいます

進路の実現に向けて～３年生三者面談～



18日(水)より、３年生を対象に三者面談を実施しております。これは、現段階での志望校について確認し、その実現についての流れ、頑張っていくことなどを話し合うものです。

私立など、早い学校によっては１月初めには始まる受験。今までの頑張りをもとに、「何を目的に・何科を選択し・３年間続けるイメージをもって」面談に臨んでいただければと思います。保護者の皆様、お忙しい中恐れ入りますが、よろしくお願いたします。

※１・２年生の三者面談は12月に希望者を対象に実施いたします。